

クラリベイト、AI分野のイノベーションを牽引する組織 50 社を選出する 新たな指標「Clarivate AI50」を発表 日本企業からは 6 社が選出

2026年3月26日、ロンドン（英国）一革新的なインテリジェンスを提供する世界的リーディング企業である、[Clarivate Plc](#) (NYSE:CLVT) は本日、人工知能（AI）分野において卓越した発明力とリーダーシップを示す組織 50 社を選出した「Clarivate AI50」を発表しました。

本レポートは、「Top 100 グローバル・イノベーター 2026」の発表に続くもので今回が初の発表となります。AIの基盤技術の創出から、複雑なシステムへの実装、さらに製品・業務プロセス・産業環境への展開に至るまで、どのようにAIイノベーションを推進しているのかを深く掘り下げて分析しています。なお、AI50に選出された組織の半数以上は、2026年のTop 100 グローバル・イノベーターにも名を連ねています。

AI50に選ばれた組織は、特定の国・地域および主要産業分野に集中しています。全体の約80%が、中国本土（15組織）、米国（14組織）、韓国（6組織）、日本（6組織）の4つの国・地域に本社を置いています。また、政府系および学術研究機関が大きな割合を占めており、これに続いて、ソフトウェア・メディア、電子機器・コンピューティング、半導体といった産業分野の企業が多く見られます。これらの拠点は人材が継続的に育成・供給される仕組み、サプライヤーのエコシステム、そして国境を越えた協業が相互に作用することで、イノベーションの加速と実装の迅速化が促進されている地域や分野であるといえます。

AI50の分析は、Clarivate Center for IP and Innovation Research によって実施されました。分析には、Derwent World Patents Index（DWPI）を基盤とし、発明の影響力、成功度、希少性、地理的投資を測定する Derwent Strength Index を用いた厳密な手法が採用されています。

Clarivate Intellectual Property 部門 President である Maroun S. Mourad は次のように述べています。「世界経済が大きく再編される中、AI50に選ばれた組織はその先頭に立っています。これらの組織は、技術的影響力が高く、かつ複数国で保護されたAI発明を世界的に見ても突出した割合で生み出しています。彼らが構築する認知システムと統合型インテリジェンスは、次の産業時代を形作る基盤となるでしょう。」

フィリップスの CEO、Roy Jakob 氏は次のようにコメントしています。「AIは現在、現実世界で具体的な価値を生み出す新たな段階へと進化しています。Clarivate AI50は、AIが産業や人々の日常生活を形づくるシステムの中に、いかに深く組み込まれつつあるかを示しています。フィリップスのようなメドテック分野を牽引する企業が、信頼されるパートナーとしてAIを活用し患者ケアの向上を実現している例に見られるように、これらの組織は、よりスマートな製品やサービスを通じて確かな成果を提供しています。今後の焦点は、こうした進歩を責任ある形で拡大させ、人々と社会に持続的な価値を届けていくことです。」

レポートの主な調査結果

- 基盤 AI 技術を牽引する組織
Alphabet、Huawei、IBM、Microsoft、NVIDIA、Tencent、ならびに中国の主要大学などが、モデルアーキテクチャ、ハードウェア、プラットフォーム技術における画期的な特許発明を通じて、AI の中核技術開発を主導しています。
- 特定領域に特化した AI イノベーション
Accenture、Alibaba、ByteDance、ETRI、KAIST、KLA、Tata Consultancy Services などの組織は、特定の用途領域において高度に専門化された AI 技術を開発し、実用性の高い高付加価値アプリケーションへと展開しています。
- 国際・学術連携の高さ
AI50 に含まれる発明の約 10% は学術機関との共同研究によるもので（世界平均 7%）、約 20% は国際的な発明者チームによるものです（世界平均 7%）。
- 公的研究の重要性
政府系および学術研究機関が AI50 の大きな割合を占めており、公的資金による研究が AI 基盤技術の開発において重要な役割を果たしていることが示されています。

日本の選出企業（6 社）

- キヤノン株式会社
- 富士フイルムホールディングス株式会社
- 富士通株式会社
- 三菱電機株式会社
- ソニーグループ株式会社
- トヨタ自動車株式会社

注）英字社名表記におけるアルファベット順

詳細については、[Clarivate AI50 特設サイト](#)をご覧ください。

評価手法

本 AI50 は、Derwent World Patents Index に収録された AI 関連発明を対象とした分析に基づいています。クラリベイト独自の発明レベル指標により発明強度（Invention strength）を評価し、AI 関連発明の上位 0.5% を抽出。その中から、2 か国以上で特許ファミリーを有する発明のみを対象としました。各発明は現在の最終保有組織に帰属させ、該当発明数に基づいて組織をランキング化しています。その結果、上位 50 組織（今年は同順位のため 52 組織）が AI50 として選出されました。

Clarivate Center for IP and Innovation Research について

Clarivate Center for IP and Innovation Research は、先進的なベンチマークとデータドリブンな知見に基づき、世界中の組織が競争力を高めるための調査・助言を提供しています。知財・イノベーション分野のリーダーと連携し、IP 戦略・運用の最適化および意思決定の高度化を支援しています。

Clarivate について

Clarivate は、革新的なインテリジェンスを提供する世界有数の情報サービスプロバイダーです。学術、知的財産および、ライフサイエンス・ヘルスケア分野で充実したデータ、インサイト・アナリティクス、ワークフローソリューション、専門家によるサービスを提供しています。詳細については clarivate.com/ja/ をご覧ください。

メディアお問い合わせ先

日本国内

Clarivate AI50 広報事務局（株式会社プラップジャパン内）

Mail: clarivate-pr@prap.co.jp

日本以外の地域

Sofia Nogués

Sr. External Communications Manager

newsroom@clarivate.com